現 場 説 明 書（技術的事項）

委託名　　（仮称）福山地区消防組合消防局訓練場整備工事に伴う地質調査委託

１．調査場所の状況

・調査場所は、福山市上下水道局出原浄水場敷地内です。

　現状、施設の利用はありませんが、土砂の搬出入作業を随時行っており、車両の往来があります。

・調査場所は、住宅が隣接しています。

２．留意事項

・2025 年(令和 7 年)2 月下旬までに地質調査を実施し、その調査結果を報告してください。

・調査にあたっては、第三者への安全に配慮し、施設管理者・監督員と協議のうえ、必要な安全対策を講じてください。駐車場、資材置場については監督員の指示に従ってください。なお、施設の鍵の貸与については、事前に監督員と協議してください。

・ボーリング位置及び試験の内容については、監督員と協議のうえ、決定してください。

・作業範囲や工程については、監督員と協議してください。

・契約後は速やかに業務計画等を提出し、監督員の承諾を受けてください。

・調査場所は住宅に隣接しているため、音や埃の出る作業時は、十分な対策を講じてください。

３．地盤情報の取扱いについて

　受注者は、地質・土質調査業務共通仕様書（広島県・令和 3 年 8 月）第 118 条 成果物の提出に基づき、地盤情報を「一般財団法人国土地盤情報センター」の検定を受けた上で、「国土地盤情報データベース」に登録しなければならない。受注者は、地盤情報の公開・利用の可否について、電子納品運用ガイドライン【地質・土質調査編】（国土交通省・平成 30 年 3 月）に基づき、事前協議における発注者の指示に従って成果品データに「公開可否コード」を記入した上で、検定の申込を行うこととする。なお、検定に要する費用は、直接経費に「国土地盤情報データベース検定費」として計上し、諸経費率算定の対象額としない。ただし、管理技術者が国土地盤情報センターで定める技術士等の資格又は、ボーリング責任者が地質調査技士の資格を持っていなければ設計変更の対象とする。

　また、受注者は、電子納品の際に、一般財団法人国土地盤情報センターから受領した検定証明書（PDF ファイル）を電子納品運用ガイドライン【地質・土質調査編】(国土交通省・平成 30 年 3 月）に規定されている格納フォルダ BORING/OTHRS に格納することをもって、提出する成果が検定済であることを報告することとする。

４．別途委託業務

・（仮称）福山地区消防組合消防局訓練場整備工事設計委託

福山市地質調査委託特記仕様書

I. 委託概要

1. 委託名称　（仮称）福山地区消防組合消防局訓練場整備工事に伴う地質調査委託
2. 委託場所　福山市北本庄五丁目地内
3. 委託内容(⊙を適用する)

⊙ ボーリング
- 水位測定

⊙ サウンディング
- ⊙ 標準貫入試験
  - スウェーデン式貫入試験
  - 動的円錐貫入試験

⊙ 標本用土質採取

⊙ 総合考察

⊙ 報告書の提出

⊙ サンプリング及び土質試験
- ⊙ 物理的性質試験
  - 力学的性質試験
  - 化学的性質試験

⊙ 原位置試験
- 現場透水試験
- ⊙ 孔内水平載荷試験
  - 平板載荷試験

II. 一般共通事項

1. 図面及び「福山市地質調査委託特記仕様書」(以下「特記仕様書」という。)に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官房官庁営繕部監修「敷地調査共通仕様書」(令和４年改定版)による。
2. 設計図書に定められた内容に疑義を生じたり、設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは、監督員と協議する。
3. 設計図書に定められた場合及び監督員の指示をうけた場合は、監督員の立会い及び検査を受ける。
4. 調査にあたっては、既存工作物等の保護等に留意し、汚損・破損等を及ぼした場合は、受注者の責任において速やかに復旧する。
5. 調査完了に際しては、仮設物、機器等の除去及び後片付け、清掃を行い、ボーリング孔を閉鎖し敷地を原形に復旧する。
6. 調査、試験の途中で、次の場合には速やかに監督員に報告し、その指示を受ける。
   - 想定地盤と著しく異なったり、現場条件の特異性により掘削が困難な場合。
   - 予定深度に達しても、数 m 以上にわたり想定支持地盤が確認できない場合。
   - 予定深度に達していないが、数 m にわたり支持地盤が確認できた場合。
   - 近接する地点での調査・試験で著しく結果が異なる場合。
   - その他、この調査目的が達成できないと判断した場合。
7. 監督員の指示により、調査・試験の変更を行う場合がある。

III.特記仕様

項目は、番号に⊙印のついたものを適用する

特記事項は、⊙印のついたものを適用する。

⊙印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。

⊙印と※印のついた場合は、共に適用する。

(1) 一般事項

(1) 作業計画書

※　提出する　　・　提出しない

記載事項

⊙　調査内容(目的、概要)

⊙　調査の順序及び方法

⊙　調査工程表

⊙　調査組織表(作業の班編成とその内容及び責任者)

⊙　使用機器の種類、名称、性能(一覧表)

⊙　仮設計画

⊙　その他必要事項

※　あらかじめ工程表を作成し、監督員の承諾を受ける。

(2) 成果品

※　成果品の所有権は、発注者に属するものとし、発注者の承諾を受けないで使用、貸与、又は公表してはならない。

(3) 技術者

※　地質調査技師(地質調査に関する知識及び技術の審査・証明事業認定規定(昭和 59 年 3 月 22 日付建設省告示第 654 号)に基づく資格を有するもの)、若しくは同等の能力と経験を有する技術者とする。

(2) ボーリング

(1) 掘削工法

※　ロータリーボーリング　　・　試掘

(2) ボーリング位置

※ 図示　　・

※　現地でのボーリング位置の決定は、原則として監督員の立会いの上行なうものとし、後日調査位置の確認ができるようにしなければならない。

掘削本数、深さ、孔径は次の表による。

掘削位置番号	深さ(m)	孔径(mm)
№.1	18.0m	φ66
№.2	18.0m	φ66
№.3	18.0m	φ66
№.4	18.0m	φ66

(3) 検尺

※　ボーリング延長の検測は、一作業毎に原則として監督員立会いのうえ、ロッドを挿入して行なう。

(3) サウンディング

(1) 標準貫入試験

※ 標準貫入試験は、JISA1219(土の標準貫入試験方法)によるほか、次による。

試験を行なう位置

※　ボーリング位置に同じ　　・

試験深さ

※　ボーリング掘削深さに同じ　　・

試験間隔

※ 地盤面より 1m の深さから 1m 間隔とする。

・　附近の状況から直接基礎が想定される場合は、地盤面から 5m 程度まで 0.5m 間隔とする。

本打ちの打撃数

※　60 回を限度とする。　　・

(2) スウェーデン式貫入試験

※ スウェーデン式サウンディング試験は、JISA1221(スウェーデン式サウンディング試験方法)による。

掘削位置

※　図示　　・

掘削本数、深さ、孔径は次の表による。

掘削位置番号	深さ(m)	備考

(3) 動的円錐貫入試験

※　鉄研式動的コーン貫入試験(大型)とする。

※　鉄研式動的コーン貫入試験(大型)は、JISA1219(土の標準貫入試験方法)に準ずる。

掘削位置

※　図示　　・

掘削本数、深さ、孔径は次の表による。

掘削位置番号	深さ(m)	備考

(4) 物理的性質試験

1)　土粒子密度試験

※ 試験方法等は、JISA1202(土粒子の密度試験方法)による。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深さ(m)	サンプリング種別

2)　含水比試験

※　試験方法等は、JISA1202(土粒子の密度試験方法)による。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深さ(m)	サンプリング種別

③　粒度試験

※　試験方法等は、JISA1204(土の粒度試験方法)による。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深さ(m)	サンプリング種別
No.1	1	腐植土まじり粘土	5.0	乱れた試料
No.1	2	砂	10.0	乱れた試料

4)　湿潤密度試験

※　試験方法等は、JISA1225(土の湿潤密度試験方法)による。

※　湿潤密度は、乱さない試料を採取し測定する。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深さ(m)	サンプリング種別

5) 液性限界試験

※ 試験方法等は、JISA1205(土の液性限界試験方法)による。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深さ(m)	サンプリング種別

6) 塑性限界試験

※ 試験方法等は、JISA1205(土の塑性限界試験方法)による。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深さ(m)	サンプリング種別

(5) 力学的性質試験

1) 一軸圧縮試験

※ 試験方法等は、JISA1216(土の一軸圧縮試験方法)による。

※ 試料は、1 採取箇所につき 3 個以上の供試体について行なう。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深さ(m)	サンプリング種別

2) 圧密試験

※ 試験方法等は、JISA1217(土の圧密試験方法)による。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深さ(m)	サンプリング種別

3) 三軸圧縮試験

※ 非圧密非排水(UU)三軸圧縮試験

※ (社)地盤工学会基準 JGS T521(非圧密非排水(UU)三軸圧縮試験方法)による。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深さ(m)	サンプリング種別

(6) 化学的性質試験 PH

1) PH

※ 土の PH の測定を行なう。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深さ(m)	サンプリング種別

⑦ 原位置試験

1) 地下水位

※ 無水掘りにより、地下水位の測定を行なう。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深さ(m)	サンプリング種別

2) 現場透水試験

試験種別

※ 回復法　　・ 注水法

試験位置

※ 図示　　・

試験本数、深さは次の表による。

掘削位置番号	深さ(m)	想定土質

③ 孔内水平載荷試験

試験位置

※ 図示

試験本数、深さは次の表による。

掘削位置番号	深さ(m)	想定土質
No.1	5.0	腐植土まじり粘土

4)　平板載荷試験

試験孔の平面形状寸法

※　1.8m×1.8m　　・

荷重サイクル法

※　1 サイクル法　　・　多サイクル法

※　(社)地盤工学会基準 JGS　1521(地盤の平板載荷試験方法)による。

試験位置

※　図示　　・

試験本数、深さは次の表による。

掘削位置番号	深さ(m)	最大荷重(t)	想定土質

(8) 総合考察

※ 調査、測定結果に基づき総合的検討、考察を行なう。

※ 調査地周辺の地形・土質の検討。

※ 各調査結果に基づく土質定数の設定。

※ 各調査結果に基づく地盤の工学的性質の検討。

※ 地盤の透水性の検討(現場透水試験や粒度試験等が実施されている場合)

※ 調査結果に基づく基礎形式の検討(具体的な計算を行なうものでなく、基礎形式の適用に関する一般的な比較検討)

※ 設計・施工上の留意点に関する一般的検討

※ 転石、ズリ石、玉石は、その岩質並びにその大きさを想定する。

・ 液状化の検討

・

・

・

・

⑨ 報告書その他

① 報告書

※ 提出図面及び報告書は、A4 版に製本し提出する。

※ 提出部数は 2 部とする。

※ 中間報告は、ボーリング 1 孔完了毎に柱状図を提出する。

報告書の内容

⊙ 調査の概要及び調査項目一覧表

⊙ 調査位置附近見取り図、敷地内ボーリング位置図(標高・調査深度を記入)

⊙ 現況周辺古地図

⊙ 調査、測定結果に基づく総合的検討、考察

⊙ 土質柱状断面図及び土性図

⊙ 地質想定断面図(彩色)

⊙ その他監督員の指示する資料

・

・

・

② 記録写真

※ 調査地の状況、試験状況等を示す記録写真を提出する。
記録写真は、カラーサービス判程度とし、枚数は監督員の指示による。

③ 土質標本

※ 土質標本は、容器に密封し、調査孔毎に蓋付き箱に入れて、1 組提出する。

※ 容器は、原則として直径 4.5cm 程度、高さ 9cm 程度のプラスチック製とする。

・

・

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 70 福山市 00-06.11.01(0) 2　委託	
	当世代	前世代
発注区分	41　建設コンサル	

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

≪凡例≫

Co ･･･コンクリート　As ･･･アスファルト
DT ･･･ダンプトラック　BH ･･･バックホウ
CC ･･･クローラクレーン　TC ･･･トラッククレーン
RTC･･･ラフテレーンクレーン

地質調査業務費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
地質調査業務費					X2000
一般調査	1	式			Y2B01　レベル1
直接調査費	1	式			Y2B0101　レベル2
機械ボーリング(市場単価)	1	式			Y2B010101　レベル3
土質ボーリング(ノンコア)	72	m			Y2B01010101レベル4
土質ボーリング 孔径　φ６６㎜ 粘性土・シルト	10	m			SSE001　00 単第0 -0001　表
土質ボーリング 孔径　φ６６㎜ 砂・砂質土	38	m			SSE001　00 単第0 -0002　表
土質ボーリング 孔径　φ６６㎜ 玉石混じり土砂	24	m			SSE001　00 単第0 -0003　表
サウンディング及び原位置試験	1	式			Y2B010103　レベル3

地質調査業務費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
標準貫入試験	72	回			Y2B01010301レベル4
標準貫入試験 粘性土・シルト	10	回			SSE007　00 単第0 -0004　表
標準貫入試験 砂・砂質土	38	回			SSE007　00 単第0 -0005　表
標準貫入試験 玉石混じり土砂	24	回			SSE007　00 単第0 -0006　表
孔内水平載荷試験	1	回			Y2B01010302レベル4
孔内載荷試験 普通載荷(2.5MN/m2以下) GL-50m以内	1	回			SSE009　00 単第0 -0007　表
室内土質試験	1	式			Y2B010110　レベル3
土の粒度試験	2	試料			Y2B01011003レベル4
室内土質試験 土の粒度試験(2),ふるい分析 試料0.5kg以下	2	試料			TH003348　00

地質調査業務費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
解析等調査	1	式			Y2B010112　レベル3
解析等調査	1	式			Y2B01011201レベル4 A=0
資料整理とりまとめ(直接人件費)直接調査費 土質ボーリング4本 岩盤ボーリング0本	1	業務			SSE052　　00 単第0 -0008　表
直接経費	1	式			Y2B010115　レベル3
電子成果品作成費	1	式			Y2B01011501レベル4
電子成果品作成費(調査)	1	式			S2B01011503 00 単第0 -0009　表
国土地盤情報データベース検定費	1	式			Y2B01011504レベル4
国土地盤情報データベース検定費 地質調査技師 地質調査技師	1	式			S2B01011501 00 単第0 -0010　表
＊＊直接調査費＊＊					

地質調査業務費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
間接調査費					Z0001
運搬費	1	式			YZZ0101　　レベル2
運搬費	1	式			YZZ010101　レベル3
運搬費	1	式			YZZ01010101レベル4
資機材運搬	1	日			SE301　　00 単第0 -0011　表
特装車運搬（クローラ） 総運搬距離　１００m以下	2	t			SSE021　　00 単第0 -0012　表
準備費	1	式			YZZ0102　　レベル2
準備費	1	式			YZZ010201　レベル3
準備費	1	式			YZZ01020101レベル4

地質調査業務費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
準備及び跡片付け	1	業務			SSE039 00 単第0 -0013 表
調査孔閉塞	4	箇所			SSE045 00 単第0 -0014 表
仮設費	1	式			YZZ0103 レベル2
仮設費	1	式			YZZ010301 レベル3
足場設備	1	式			YZZ01030101レベル4
平坦足場 板材足場(高さ0.3m以下) Br深度50m以下	1	箇所			SSE031 00 単第0 -0015 表
安全費	1	式			YZZ0104 レベル2
安全費	1	式			YZZ010401 レベル3
安全費	1	式			YZZ01040101レベル4 A=0

地質調査業務費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
環境保全 仮囲い	1	箇所			SSE043　00 単第0 -0016　表
施工管理費	1	式			YZZ0107　レベル2 A=0
施工管理費	1	式			YZZ010701　レベル3 A=0
施工管理費	1	式			YZZ01070101レベル4 A=0
施工管理費(調査)	1	式			S2Z0107X2　00 単第0 -0017　表
＊＊純調査費＊＊					
諸経費 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊業務価格＊＊					
消費税等相当額 計算情報…… 対象額…… 率……					

地質調査業務費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊地質調査業務費＊＊					

解析等調査業務費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
解析等調査業務費					X4000
解析等調査	1	式			Y2D01　レベル1
直接調査費	1	式			Y2D0101　レベル2
解析等調査	1	式			Y2D010102　レベル3
解析等調査(機械ボーリング)	1	式			Y2D01010201レベル4 A=0,D=0
資料整理とりまとめ（直接人件費） 土質ボーリング4本 岩盤ボーリング0本	1	業務			SSA052　00 単第0 -0018　表
＊＊直接調査費＊＊					
＊＊直接原価＊＊					
その他原価 計算情報…… 対象額…… 率……					

解析等調査業務費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊間接原価＊＊					
＊＊業務原価＊＊					
一般管理費等 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊業務価格＊＊					
消費税等相当額 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊解析等調査業務費＊＊					
業務価格計					
消費税相当額計 計算情報…… 対象額…… 率……					
業務費計					

施工単価表

土質ボーリング　　SSE001　　単第0 -0001　表

孔径　φ６６㎜　　粘性土・シルト　　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土質ボーリング ノンコアボーリング,深度50m以下 φ66㎜,粘性土・シルト	1	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　土質ボーリング(ノンコアボーリング) C=1　粘性土・シルト E=1　せん孔方向　鉛直下方			B=1　孔径　φ６６㎜ D=1　深度　５０m以下		

施工単価表

土質ボーリング　　SSE001　　単第0 -0002　表

孔径　φ６６㎜　　砂・砂質土　　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土質ボーリング ノンコアボーリング,深度50m以下 φ66㎜,砂・砂質土	1	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　土質ボーリング(ノンコアボーリング) C=2　砂・砂質土 E=1　せん孔方向　鉛直下方			B=1　孔径　φ６６㎜ D=1　深度　５０m以下		

施工単価表

土質ボーリング　　SSE001　　単第0 -0003　表

孔径　φ６６㎜　　玉石混じり土砂　　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土質ボーリング ノンコアボーリング,深度50m以下 φ66㎜,玉石混じり土砂	1	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　土質ボーリング(ノンコアボーリング) C=4　玉石混じり土砂 E=1　せん孔方向　鉛直下方			B=1　孔径　φ６６㎜ D=1　深度　５０m以下		

施工単価表

標準貫入試験　　SSE007　　単第0 -0004　表

粘性土・シルト　　1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
サウンディングおよび原位置試験 標準貫入試験 粘性土・シルト	1.00	回			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			
A=1　　粘性土・シルト					

施工単価表

標準貫入試験　　SSE007　　単第0 -0005　表

砂・砂質土　　1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
サウンディングおよび原位置試験 標準貫入試験 砂・砂質土	1.00	回			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			
A=2　　砂・砂質土					

施工単価表

標準貫入試験　　SSE007　　単第0 -0006　表

玉石混じり土砂　　1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
サウンディングおよび原位置試験 標準貫入試験 玉石混じり土砂	1.00	回			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			
A=4　　玉石混じり土砂					

施工単価表

孔内載荷試験　SSE009　単第0 -0007　表

普通載荷(2.5MN/m2以下)　GL-50m以内　1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
サウンディングおよび原位置試験 孔内水平載荷試験 普通載荷(2.5MN/m2以下),GL-50m以内	1.00	回			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			
A=1　普通載荷(2.5MN/m2以下)					

施工単価表

資料整理とりまとめ(直接人件費)直接調査費　SSE052　単第0 -0008　表

土質ボーリング4本　岩盤ボーリング0本　1　業務　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
資料整理とりまとめ 直接人件費	1	業務			
補正係数					
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	業務			
A=4　土質ボーリング本数（本）			B=0　岩盤ボーリング本数（本）		

施工単価表

電子成果品作成費(調査)　S2B01011503　単第0 -0009　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電子成果品作成費	1.00	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

国土地盤情報データベース検定費　S2B01011501　単第0 -0010　表

地質調査技師　地質調査技師　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
国土地盤情報データベース検定費	1.00	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=1　地質調査技師 C=4　ボーリング本数			B=1　地質調査技師		

施工単価表

資機材運搬　　SE301　　単第0 -0011　表

1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	10.60	L			5.3*2
運転手(特殊)	0.34	人			0.17*2
トラック クレーン装置付 ベーストラック3～3.5t積吊能力2.9t	2.00	時間			
トラック クレーン装置付 ベーストラック3～3.5t積吊能力2.9t	1	日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　片道所要時間（ｈ）			B=2　クレーン装置付　３ｔ積２．９ｔ吊		

施工単価表

特装車運搬（クローラ）　SSE021　単第0 -0012　表

総運搬距離　１００m以下　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
現場内小運搬 特殊車運搬(クローラ) (総運搬距離)100m以下	1.00	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=1　総運搬距離　１００m以下					

施工単価表

準備及び跡片付け　　SSE039　　単第0 -0013　表

1　業務　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
その他の間接調査費 準備及び跡片付け	1.00	業務			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	業務			

施工単価表

調査孔閉塞　　SSE045　　単第0 -0014　表

1　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
その他の間接調査費 調査孔閉塞	1.00	箇所			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

平坦足場　　SSE031　　単第0 -0015　表

板材足場(高さ0.3m以下)　　Br深度50m以下　　1　　箇所　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
足場仮設 平坦地足場(Br深度50m以下) 板材足場(高さ0.3m以下)	1.00	箇所			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			
A=1　　板材足場(高さ0.3m以下)			B=1　　Br深度50m以下		

施工単価表

環境保全　　SSE043　　単第0 -0016　表

仮囲い　　1　　箇所　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
その他の間接調査費 環境保全 仮囲い	1.00	箇所			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

施工管理費(調査)　S2Z0107X2　単第0 -0017　表

1　式　当り

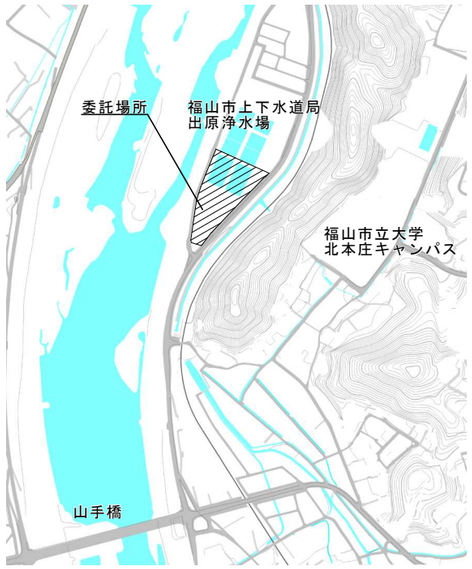
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
施工管理費	1.00	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

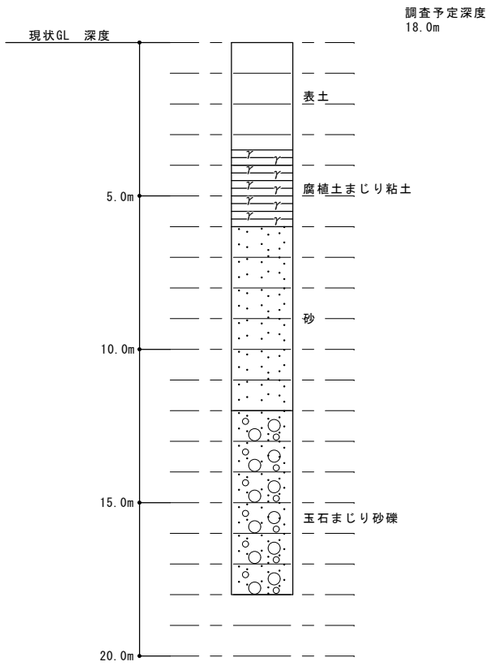
資料整理とりまとめ（直接人件費）　SSA052　単第0 -0018　表

土質ボーリング4本　岩盤ボーリング0本　1　業務　当り

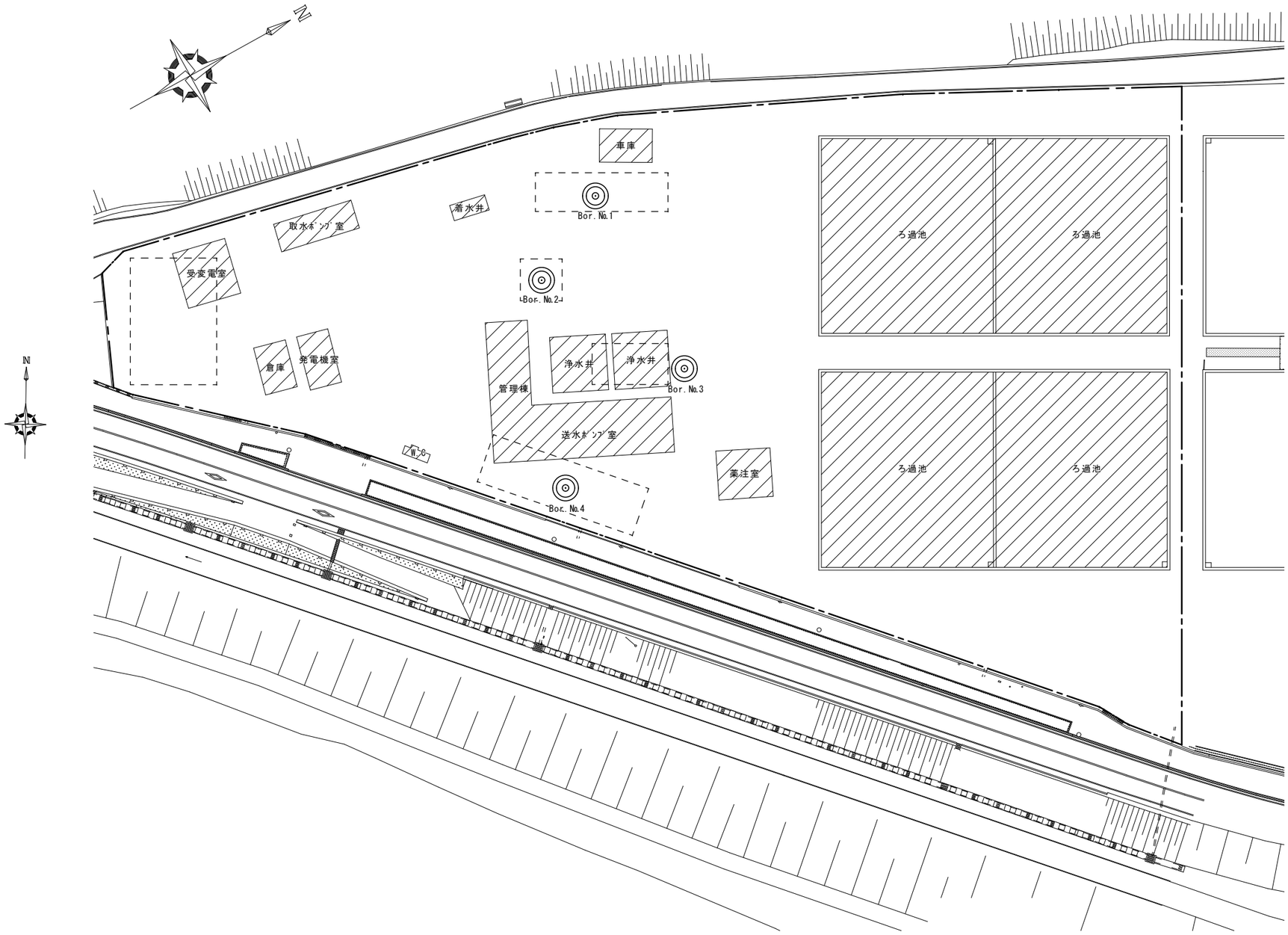
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
資料整理とりまとめ 直接人件費	1	業務			
補正係数					
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	業務			
A=4　土質ボーリング本数（本）			B=0　岩盤ボーリング本数（本）		



附近見取図　Non Scale



推定柱状図



配置図　S=1/800

：既存建築物・工作物
：計画建築物
：計画敷地
：ボーリング位置
※ボーリング位置については計画案です。

2024年　11月	（仮称）福山地区消防組合消防局訓練場整備工事に伴う地質調査委託	1/1
福山市 建設局建築部営繕課	附近見取図・推定柱状図・配置図	縮尺 No Scale : S=1/800